

## 地域のニーズに応える救急医療の実現 お断りのない救急外来を目指して・・・

当院は24時間の救急の医療体制をとっています。現在のところは救急科としての専従の医師配置は出来ていませんが、各診療科が協力して救急対応をおこなっています。2014年から救急科専門医して施設に認定されました。

2015年より病院方針として「お断りのない救急外来」が掲げられ、医師、看護師、事務員など他職種で連携を行い取り組んでおります。救急搬入数やウォークイン数も序々に増加し、5年前の救急搬入受入数は1400台でしたが、2018年度は3098台となりました。

### 救急車搬入数



地域のニーズに応える病院だからこそ断らずに受け入れる体制が重要であります。お断りをせず一旦受け入れ、高度医療が必要な場合は、迅速なタイミングで他医療機関へご紹介させていただく事も当院の重要な役割と考えます。

また、地域との連携強化において、受診後も速やかにかかりつけの医院にご紹介する事、かかりつけのない方は、自宅に近い医院を紹介させていただき、継続に努めています。

### ER看護師の取り組み

#### ビジョン・・・お断りのない救急外来を目指し、安心・安全の看護の提供

当院は院内トリアージを導入しています。高齢者世帯、独居の高齢者が増加する中、重症化して来院されるケースも多く、瞬時に状態を評価し、必要な情報を集め、状態をアセ

メントし実践に繋げる事が求められます。2018年度より2名の救急看護認定看護師を配置し、フィジカルアセスメントの学習会、トリアージ表の検証などを行いながら、質の向上に努めています。

また、救急外来の看護師は、身体的苦痛を緩和するだけでなく、生活環境など全体を視る広い視野をもち、「安心して暮らせる生活の支援」も重要な役割であります。ソーシャルワーカーなど他職種連携で関わっております。

11月には新病院での実践が始まります。地域の方が安心して受診出来るように今後も努力していきます。